

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成24年7月30日					
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)		報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名)					
京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町901番地		株式会社ジェイアール西日本ホテル開発 代表取締役社長 土師 総一 電話 075-342-5510					
主たる業種	ホテル業	細分類番号	7	5	1	1	
事業者の区分	京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号	<input checked="" type="checkbox"/> ア	<input type="checkbox"/> イ	<input type="checkbox"/> ウ	<input type="checkbox"/> エ	<input type="checkbox"/> オ	
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	平成22年度を基準に平成23年度から平成25年度の間で温室効果ガス排出量を3%削減する。						
計画を推進するための体制	従来から取り組んでいるKES活動において進捗管理を行う。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	9,462.4 トン	8,954.2 トン			-5.4 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	9,462.4 トン	8,954.2 トン			-5.4 パーセント	
	実績に対する自己評価	平成22年度末に実施した照明のLED化や電力供給不足対策として取り組んだ営業スペースにまで踏み込んだ照明の減灯、室温管理の徹底による空調エネルギーの削減等により、排出量を当初計画より大幅に削減できた。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	ホテル	事業活動に伴う排出の量 (売上高÷億円)	85.72	82.46			-3.82 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
	実績に対する自己評価	平成22年度末に実施した照明のLED化や電力供給不足対策として取り組んだ営業スペースにまで踏み込んだ照明の減灯、室温管理の徹底による空調エネルギーの削減等により、排出量を当初計画より大幅に削減できた。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		23.0	61.0				
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	設備管理標準の制定、空調設定温度見直し、照明点灯時間の変更を実施					
	(24)年度						
	(25)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	公共交通機関の利用を奨励					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	公共交通機関の利用が経済的であり従来から取り組んでいる。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの		トン	トン	トン		
	地域産木材の利用によるもの		トン	トン	トン		
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの		トン	トン	トン		
	グリーン電力証書等の購入によるもの		トン	トン	トン		
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの		トン	トン	トン		
合計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	・WEBやレストラン情報誌によるKES活動状況の情報発信や取組実績を他企業に紹介するなど、環境への取り組みの普及に努めた。						
特記事項							

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。